大新书局授权

ズバリ 精准预测
日能予想問題集
日语能力测验
2级 语法

松岡龍美・辻信代　编

南开大学出版社
天津电子出版社

ズバリ

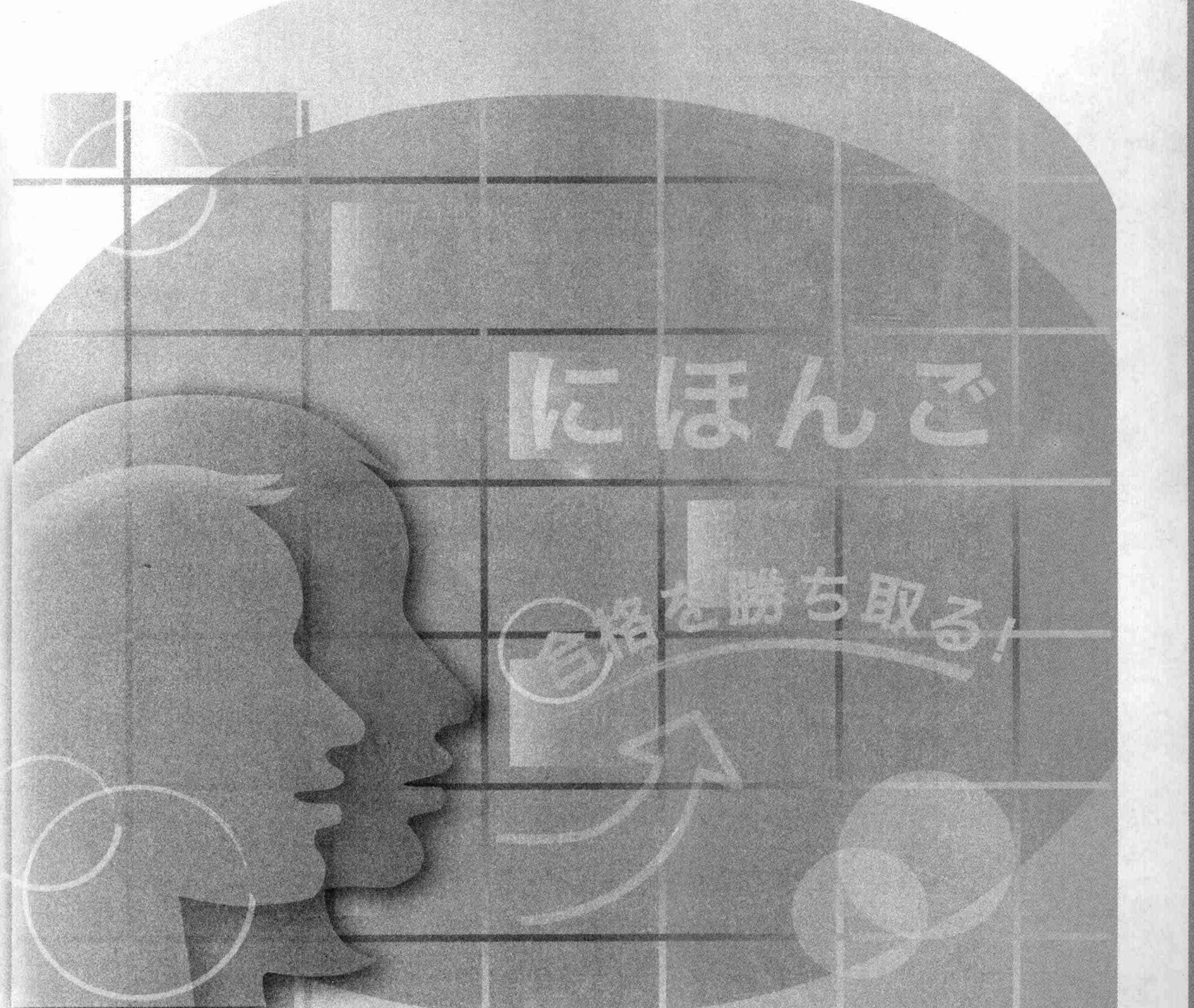
精准预测

日能予想問題集

日语能力测验

2级 语法

松岡龍美・辻信代　编



南开大学出版社
天津电子出版社

本著作物由大新书局授权出版
天津市版权局著作权合同登记号：图字 02-2007-80

图书在版编目（CIP）数据

精准预测日语能力测验．二级语法/（日）松冈龙美，（日）辻信代编．—天津：南开大学出版社，2008.1

ISBN 978-7-310-02836-8

Ⅰ．精…　Ⅱ．①松…②辻…　Ⅲ．日语－语法－水平考试－习题　Ⅳ．H369.6

中国版本图书馆CIP数据核字(2007)第203059号

版权所有　侵权必究

南开大学出版社、天津电子出版社出版发行
出版人：肖占鹏
于志坚
地址：天津市南开区卫津路94号　邮政编码：300071
天津市南开区长实道19号　邮政编码：300191
※
天津新华二印刷有限公司印刷
全国各地新华书店经销
※
2008年1月第1版　2008年1月第1次印刷
787×1092毫米　16开本　12.75印张　177千字
定价：22.00元

如有图书印装质量问题，请与营销部联系调换，电话：(022)23678808

まえがき

2002年から日本留学試験が始まりました。

これによって、いわゆる日本語学校では、日本語能力試験を受ける学生が少なくなりました。日本語学校の学生のほとんどは大学進学を希望しており、その大学が日本語能力試験の成績を利用しなくなったからです。

確かに、大学進学の資格試験には使われなくなった日本語能力試験ですが、今でも全世界で30万人以上の受験者が存在しています。このうち2級の受験者は9万人余りです。国内でも海外でも、受験者は増え続けているのです。それは、日本語能力試験が、日本語の能力を測るときに現在最も適した試験であるということが広く認知されているためで、今後受験者は減ることなく増え続けるものと思われます。日本語能力試験は、日本語の資格試験として立派に機能しているのです。

さて、このような現状を踏まえた上で、文法の試験の内容について言いますと、2000年から出題傾向が変わり、全36問のうち80%が、2級の文法事項から出るようになり、後の20%は、3級文法の応用や1級に出題されたものと同じ問題、あるいは出題基準外からの出題となりました。つまり、「出題基準」の2級文法事項を勉強すれば、必ず合格できるということです。

この予想問題集は、過去の問題を分析し、今年出題される可能性が高い文法を「ズバリ」予想しています。もちろん、文法はすべて身につけてほしいと思いますが、特にもっと計画的かつ効率的に整理して勉強したい人に、この問題集を強くお勧めしたいと思います。

「試験」なのですから、実力が正確にわかるためには、試験の「予想」など、できない方がいいのですが、受験者にとってはやはり試験の成績の1点は大きく、その後の人生を左右する重みを持っています。1点でも多く得点するために、そして、受験者の皆さんの日本語学習に役立つように、予想できるところを予想し、その予想を公開するべきだと考えました。

皆さんの成績が1点でも上がるよう、お祈りしています。

編　者

目次

1. 日本語能力試験２級文法の出題傾向 1
2. 傾向分析リスト（機能別） 4
3. 必ず出る文法事項 29（こと・もの・ところ・わけ） 9
4. 第１回復習テスト 28
5. 重要な文法事項 27（よう・から・さえ・うえ・か・かぎり・しかない） 31
6. 第２回復習テスト 48
7. 文末表現 31（57. てしょうがない 〜 87. ほどだ） 51
8. 第３回復習テスト 72
9. 接続表現１（88. にとって 〜 115. にかかわらず）28 75
10. 第４回復習テスト 92
11. 接続表現２（116. をはじめ 〜 147. 〜も〜ば〜も）32 95
12. 第５回復習テスト 116
13. 接続表現３（148. こそ 〜 175. だらけ）28 119
14. 未出題の文法事項 138
15. 第６回復習テスト 140
16. 敬語表現・出題基準外文法事項 143
17. 第７回復習テスト 151
18. 傾向分析リスト（出題年度順別） 153
19. 予想問題（第１回〜第６回） 158
20. 解答（練習問題、復習テスト、予想問題） 181

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com

1. 日本語能力試験２級文法の出題傾向

「日本語能力試験２級」の文法問題は１級と同じ、全部で36問です。
問題Ⅳ、**問題Ⅴ**、**問題Ⅵ**の３つに分けられています。

問題Ⅳは、全20問です。主に接続表現の問題です。2004年の問題では、20問すべて接続の問題でした。

【問題Ⅳ】 戦争に＿＿＿＿＿、批判の声が次第に高まっている。
　１　沿って　　２　**対して**　　３　かけては　　４　こたえて

このように、１つの文の途中に使われる言葉を選ぶ問題です。この問題の正解は、「対して」ですが、このような文法表現は、「日本語能力試験出題基準」の「２級文法事項」から出題されます。実際には、2004年の問題では、20問のうち、15問≒75％がこの「２級文法事項」から出ています。
後は、「２級敬語」から３問、そして「３級文法の応用問題」が２問です。

問題Ⅴ、**問題Ⅵ**は、主に文の終わり、つまり文末表現の問題です。

【問題Ⅴ】 大学院は自分で研究を進めるところだから、先生に頼ろうとする＿＿＿＿＿。
　１　はずではない　　２　ことではない
　３　**べきではない**　　４　までではない

【問題Ⅵ】 ゴミ処理の問題については林先生が一番くわしい。専門的なことについては、林先生をぬきにして議論＿＿＿＿＿。
　１　しなければならない　　２　**しても仕方がない**
　３　した方がいい　　４　してもいい

問題Ⅴは全10問で、２級出題基準から９問、出題基準外が１問の割合です。
問題Ⅵは全６問で、２級出題基準から５問、出題基準外が１問の割合です。

過去の問題を分析すると、次のことがわかります。（「傾向分析リスト」p5　参照）
① 全36問のうち、29問 ＝ 80％は、２級の出題基準から出る。
　　　　　　３問 ＝　8％は、２級の敬語表現から出る。
　　　残りの４問 ＝ 12％は、出題基準外の問題である。

② 2年連続して出題される文法事項はほとんどない。2年前の問題が出る可能性も低い。

※ ただし、次のように、ほとんど同じ形で2年続けて出題される場合もある。36問のうち1問だけ。

2003年／あんなに喜んでいる**ところを**みると、彼の成績はかなり上がったにちがいない。

2002年／笑顔だった**ところを**みると、すべてうまくいったにちがいない。

※ 試験の問題では、文の一部分が空白になっていて、そこに入る言葉を選ぶという問題になっています。ここでは、文の下線の部分が、そうです。上の2002年の例を見ても、太字部分の文法事項と、下線の部分がちがっています。これは実際には、次のような形で出題されています。

問：笑顔だった＿＿＿＿をみると、すべてうまくいったにちがいない。
答：(ところ)

③ 特に問題ⅤやⅥの文末表現では、「～わけではない」「～べきではない」「～ものではない」、2004年のように、否定表現の出題が多い。16問中11問＝約70％

④「こと」と「もの」は、必ず出題される。

以上、過去問題の分析結果から、

※ まず、毎年必ず出る「こと」と「もの」の使い方を勉強すること。

※ 次に、出題基準の文法事項のうち2002年以前に出題されたものを勉強すること。

※ 特に、2002年以前に出題された文末表現のうち、否定表現の文法を勉強することから始めること。

という3つの点が大事だと言うことがわかります。

2003年以前出題1級文法　文末否定表現

1. ～てしょうがない／～てしかたがない	1999	1991			p52
2. ～っこない	2000				p52
3. ～ほかない／～よりほかない	2001	1998			p52
4. ～というものではない	2001	1998			p22
5. ～ずにはいられない	2002	1994	1991		p56
6. ～わけがない	2002	1996	1993		p27
7. ～しかない	2002	1995	1994	1993	p47
8. ～かねない	2002	1997	1995		p53
9. ～てたまらない	2002	1997	1995		p53
10. ～に違いない	2002	1998			p52
11. ～ないではいられない	2002	1999			p56
12. ～どころではない	2002	2000	1995		p26
13. ～ないことはない	2002	2000	1991		p13
14. ～ようがない	2002	2001	1998		p32

☆ この問題集は、これまで何回も出題された重要な文法事項、出題される可能性が高い文法事項から順番に構成されています。まず、この順番で勉強していってください。

2. 傾向分析リスト

接続表現・機能別 1

	2005	2004	2003	2002	2001	2000	1999	1998	1997以前
～にとって／～にとっての	★								★
～について／ついての									★
～において／おいても／～における					★			★	
～によって／より／よる／よれば		★							★★
～につれて／～につれ	★								★
～にしたがって／したがい								★	★
～にともなって／～に伴う		★			★				★
～にあたって／～にあたり								★	★
～にかけて／～から～にかけて								★	★★
～にわたって／わたる／わたった					★				★
～に限り／限って／～に限らず			★			★			★★
～にくらべて／～に比べ									★
～にもとづいて／基づく／基づいた								★	★
～にそって／沿った／沿う						★			
～にかわって／～にかわり						★			
～にこたえて／～にこたえる				★				★	
～におうじて／～に応じた									★
～にさいして／～に際しての									★
～にかんして／関する						★			★
～にはんして／反する／反した			★					★	
～にたいして／～に対する		★			★				★★★
～につき				★					★
～にさきだち／～に先立つ			★				★		
～にしても／したら／すれば									★
～にせよ／～にしろ			★					★	
～にかけては／～にかけても	★					★			★★
～にしては					★				★★★
～につけても／～につけ				★					★
～にかかわらず／かかわりなく				★	★				★
～をはじめ／～をはじめとする	★							★	★
～を問わず／～はとわず								★	★★
～を通して／～を通じて				★					★
～を中心に／～を中心として			★					★	
～をもとに／もとにして			★			★			
～をきっかけに			★			★			
～をこめて		★							
～を抜きにして／～はぬきにして		★					★		
～をめぐって／～をめぐる		★			★				★★
～はともかく／～はともかくとして		★						★	
～はもちろん／～はもとより	★				★	★			★
～もかまわず					★				

接続表現・機能別２

	2005	2004	2003	2002	2001	2000	1999	1998	1997 以前
～として／しては／しても									★★★★
～としたら／～とすれば	★								★★
～というより								★	
～といえば／～というと／いったら				★		★			★
～といっても	★				★				★
～とともに							★		★★
～とか	★								
～からといって									★
～からには／～からは									★
～からいって／～からいえば							★		
～から見れば／～から見て						★			
～からすると／～からすれば					★				★
～からして			★			★			
～てからでないと／なければ		★				★			
～かと思ったら／かと思うと			★				★		
～か～ないかのうちに							★		★
～さえ／～でさえ					★	★			★
～さえ～ば		★					★		★★★
～ば～ほど		★							★★★
～ほど／～ほどだ		★			★★				★★★
～こそ	★								★
～だけあって／～だけに／～だけの			★	★					★★★
～ばかりに				★				★	★
～ばかりか／～ばかりでなく			★		★		★		
～どころか									★★
～のみならず		★							★
～やら～やら								★	
～も～ば～も／～も～なら～も	★								★
～ながら									★★
～つつ／～つつも							★		★
～ように		★			★				★★★★
～とおり／とおりに／～どおり	★								★
～くせに	★								★★
～かわりに							★		★
～ついでに	★					★			★★
～うちに／～うちは／～ないうちに				★	★		★		★★
～たびに／～たび			★						★★★
～ところを／ところに／ところへ			★	★					
～わりに／～わりには		★				★			★★★
～の末(に)／～た末(に)／末の			★						

接続表現・機能別３

	2005	2004	2003	2002	2001	2000	1999	1998	1997以前
～うえ／～うえに									★★★
～うえは							★		
～上（じょう）／上は／上も							★		
～うえで／～上の／～上での			★		★				★★
～せいで／～せいか			★					★	★★
～おかげで／～おかげだ				★					★★★
～一方で									★
～反面／～半面	★							★	
～際に／～際／～際は	★						★		
～以上／～以上は	★				★				★★★
～最中に／～最中だ				★					★
～て以来		★					★		
～あげく			★						★
～たとたん				★					★★
～たところ				★			★		★
～きり／～きりだ 2003			★			★			★
～あまり／～のあまり	★			★					★★
～かぎり／～ないかぎり		★			★	★			★
～しだい	★				★		★		★
～しだいでは／～次第だ			★					★	
～かけの／～かけだ／～かける								★	★
～がちの								★	
～抜きで／ぬきには／ぬきの									★
～なんか／～など／～なんて							★		
～だらけ						★			★
～むけだ／むけの／むけに／～むきの			(★)			★			★
たとえ～ても	★								★★★
～ものなら	★						★		
～ものだから				★					★★
～ものの		★				★			★
～ことなく								★	
～ことから							★		
～ことに／～ことには							★		
～ことで（基準外）						★			
～ことだから				★			★		★★
～ないことには（～ない）			★					★	★★

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com

文末表現・機能別１

	2005	2004	2003	2002	2001	2000	1999	1998	1997 以前
～てしかたがない／しょうがない							★		★
～っこない						★			
～ほかない／～よりほかはない					★			★	
～というものではない					★			★	
～ずにはいられない	★			★					★★
～わけがない／～わけはない				★					★★
～しかない	★			★					★★★
～かねない	★			★					★★
～てたまらない	★			★					★★
～にちがいない	★			★				★	
～ないではいられない				★			★		
～どころではない／ではなく				★		★			★
～ないことはない				★		★			★
～ようがない／～ようもない				★	★			★	
～わけにはいかない			★						★★★
～ざるをえない			★						★★★
～きれない／きる／きれる			★					★	★
～にほかならない			★			★			
～てならない		★							★★
～ことはない		★					★		★
～にすぎない		★			★				★★
～ものではない		★			★				
～わけではない／～わけだ		★							★★
～べきではない／～べきだ	★	★					★		★★
～まい／～まいか		★							
～ものか									★
～かねる							★		★
～がたい			★						★
～うではないか		★							★
～ぬく	★								★
～かける／～かけだ								★	
～うる／～得る							★		
～ものがある				★					
～おそれがある			★		★	★			★
～つつある		★				★			
～にきまっている			★	★				★	
～一方だ			★					★	★★
～ぐらいだ／～くらい			★				★		
～ほどだ		★							
～きりだ		★							
～ぎみだ／～気味		★							
～かのようだ		★					★		★
～がちだ	★				★				★★

文末表現・機能別２

	2005	2004	2003	2002	2001	2000	1999	1998	1997 以前
～ものだ／～たいものだ					★				★★
～というものだ	★			★					
～ことか	★					★			
～ことになっている	(★)				★				★
～ことだ					★			★	
～ということだ／ことではない					★	★		★	★
～ないことはない				★		★			★
～ことはない		★					★		★

【もの】※2003年と1998年は出題なし

	2004	2003	2002	2001	2000	1999	1998	1997	1996 以前
～ものなら						★			
～ものだから			★					★	★
～ものの	★				★				★
～ものか								★	
～ものだ／～たいものだ				★					★★
～ものがある			★						
～というものだ			★						
～ものではない	★			★					

【こと】※1997年は出題なし

	2004	2003	2002	2001	2000	1999	1998	1997	1996 以前
～ことなく							★		
～ことから						★			
～ことに／～ことには						★			
～ことで（基準外）					★				
～ことだから			★			★			★★
～ないことには（～ない）		★					★		★★
～ことか					★				
～ことになっている				★					★
～ことだ				★			★		
～ということだ／ことではない				★	★		★		★
～ないことはない			★		★				★
～ことはない	★					★			★

3. 必ず出る文法事項29 (こと・もの・ところ・わけ)

こと：接続表現

❶ ～ことに

接続 **気持ちを表す形容詞「～い」「～な」＋ことに**

例⇨ かなしい**ことに**

動詞「た形」＋ことに

例⇨ おどろいた**ことに**　こまった**ことに**

意味 気持ちの原因を強調するときの表現。

旅行が中止になって、残念だ。　⇒　残念な**ことに**、旅行が中止になってしまった。

1999年／興味深いことに、昔のゲームが再び流行しているそうだ。

1992年／困ったことに、相手社長の名前がどうしても思い出せなかった。

1991年／不思議なことに、彼はコーヒーを飲むと、眠くなるという。

❷ ～ことから

接続 **「普通形」＋ことから**

例⇨ 高いビルがたくさん建っている**ことから**

意味 原因・理由を表す。特に、名前がつけられた理由を示すことが多い。

1999年／大都市では、少子化が進んできていることから、学校の数も減りつつある。

例文 1. このあたりは、高いビルがたくさん建っている**ことから**、「高層ビル街」と呼ばれている。

2. 彼は、知識が豊富である**ことから**、みんなに「博士」と呼ばれている。

❸ ～ことなく

接続 **動詞「辞書形」＋ことなく**

意味 「～しないで」⇒　一定の期間、「～しない」ことを強調した表現

1998年／山川さんは33年間休むことなく会社に通った。

例文 1. 彼女は、だれとも結婚する**ことなく**、死ぬまで独身を通した。

2. 彼は、一言もおしゃべりする**ことなく**勉強していた。

❹ ～ことだから

接続 「人」＋の＋ことだから
例⇨ 山田さんの**ことだから**

意味 その人について、推測する表現 ⇒ 「きっと～だろう」／「～にちがいない」

2002年／山田さんはやさしい性格で、だれに対しても親切だ。そんな彼女の**ことだから**、困っている友だちを見て、助けないではいられなかったのだろう。

1999年／「山川さんは、まだですか。」
「ええ。でも、まじめなあの人の**ことだから**、時間には必ず来ますよ。」

1994年／成績優秀なＡ君の**ことだから**、きっと合格するだろう。

1992年／時間に正確な彼女の**ことだから**、私が遅れたら怒るだろうな。

❺ ～ことで

接続 **動詞「た形」＋ことで**

意味 そのことが原因で、状況が変わったことを表す。その「きっかけ」を示す。

2000年／中田さんは、去年の国際ピアノコンクールで優勝した**ことで**、初めて人々に知られるようになった。（基準外）

第1回　練習問題（1～5）

I　左と右を線で結び、文を完成させなさい。

1. あの寝坊の田中君のことだから
2. この通りは外国人が多いことから
3. 残念なことに
4. 彼は、1日も休むことなく
5. けがをしたことで
6. うそつきのAさんのことだから
7. 防犯カメラに映っていたことから
8. だれも疑うことなく
9. おもしろいことに
10. CDが売れたことで

a. この学校には同姓同名の人が3人もいる。
b. 合格できなかった。
c. 信じていられたらいいのに…。
d. 出場メンバーに入れなかった。
e. すぐ犯人が捕まった。
f. 有名になった無名の歌手。
g. 毎朝ジョギングをしている。
h. まだ、ふとんの中だろう。
i. 「国際通り」と呼ばれている。
j. この話も事実ではないだろう。

II　下の文の（　）の中に当てはまる言葉を□から選びなさい。

1. 不思議なこと（　　）、あの双子は全然似ていない。
2. 健康管理の会でいろいろな意見が発表されました。以上のこと（　　）、我が社では全社禁煙にします。
3. 心配性の母のこと（　　）、私が3日電話しないと「どうかしたの」と連絡してくる。
4. ノーベル賞を受賞したこと（　　）、田中さんは非常に忙しくなった。
5. 思いがけないこと（　　）、幼友達からプロポーズされた。
6. 少年による犯罪が増えたこと（　　）、法律を厳しくしようと言う意見もある。
7. ケチなあの人のこと（　　）、そんな高いものを買うはずがない。
8. 彼は、川でおぼれていた人を助けたこと（　　）、市長から感謝状を贈られた。
9. 彼女はスピーチコンテストで一か所も間違えること（　　）、すばらしい発表をした。

1　に　　2　から　　3　だから　　4　なく　　5　で

❻ ～ないことには

接続 **動詞「ない形」＋ないことには　…ない　⇒　二重否定**

意味 ～しなければ、今の状態は変わらない。　⇒　問題は解決できない。

2003年／一度会ってみ**ないことには**、どんな人かわからないだろう。

1998年／新しいタイプの伝染病が各地に広がっている。くわしい調査をし**ないことには**、政府も対策がたてられない。

1994年／文章を書くということは、表現することだから、テーマをはっきりさせ**ないことには**、何も書けない。

1993年／どんな所か、実際行ってみ**ないことには**、よくわからない。

こと：文末表現

❼ ～ことはない　⇒　❿ ～ことだ

接続 **動詞「辞書形」＋ことはない**

意味 ～する必要はない。～しなくてもいい。

2004年／毎日遅くまで、残業する**ことはない**。体をこわしては意味がない。

1999年／言われたとおりにやったのだから、結果が悪くてもあなたが謝る**ことはない**。

1993年／お母さんの病気はすぐによくなるから、何も心配する**ことはない**。

❽ ～ないことはない

接続 **動詞「ない形」＋ないことはない　（動詞可能形の「ない形」が多い）**
形容詞否定形　＋　ことはない

意味 「できないことはない」＝「すこしできる／可能性はある」
「いきたくないことはない」＝「行きたい気持ちが少しある」⇒「0％ではない」

2002年／「田中さんのふるさとは寒いところだから、スケートはお得意でしょ。」
「うーん、でき**ないことはない**けど、もう何年もやってないから…。」

2000年／山川さんは、ある日突然大学をやめてまわりをおどろかせたが、

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com